

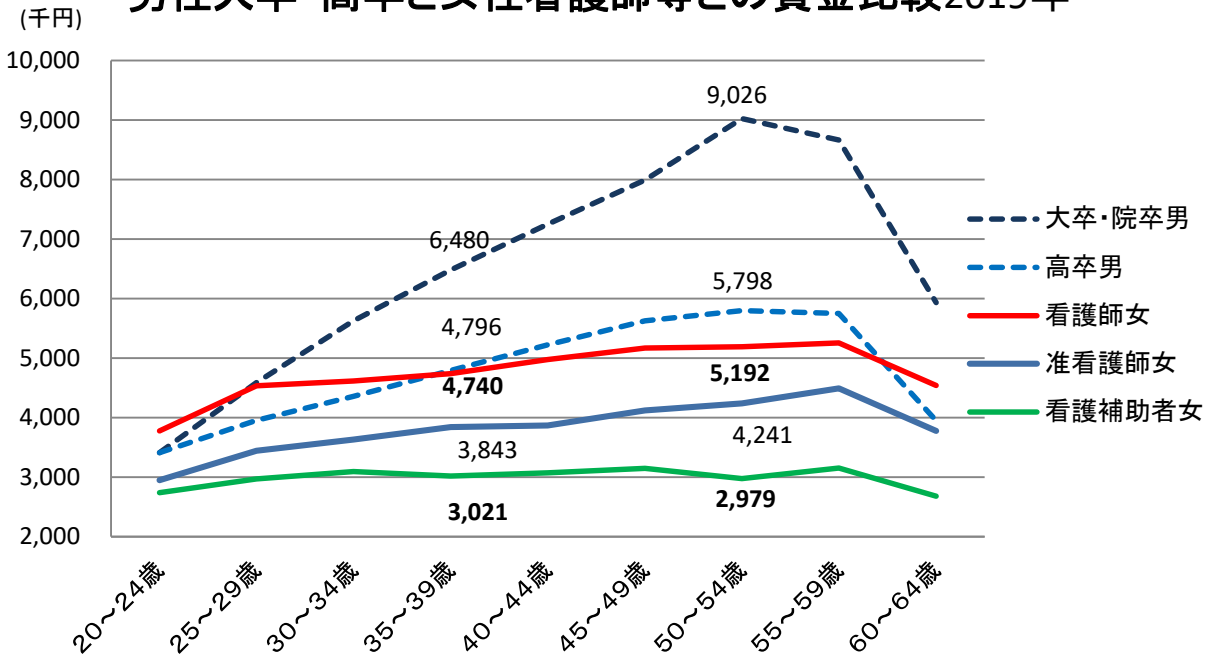


予算委員会

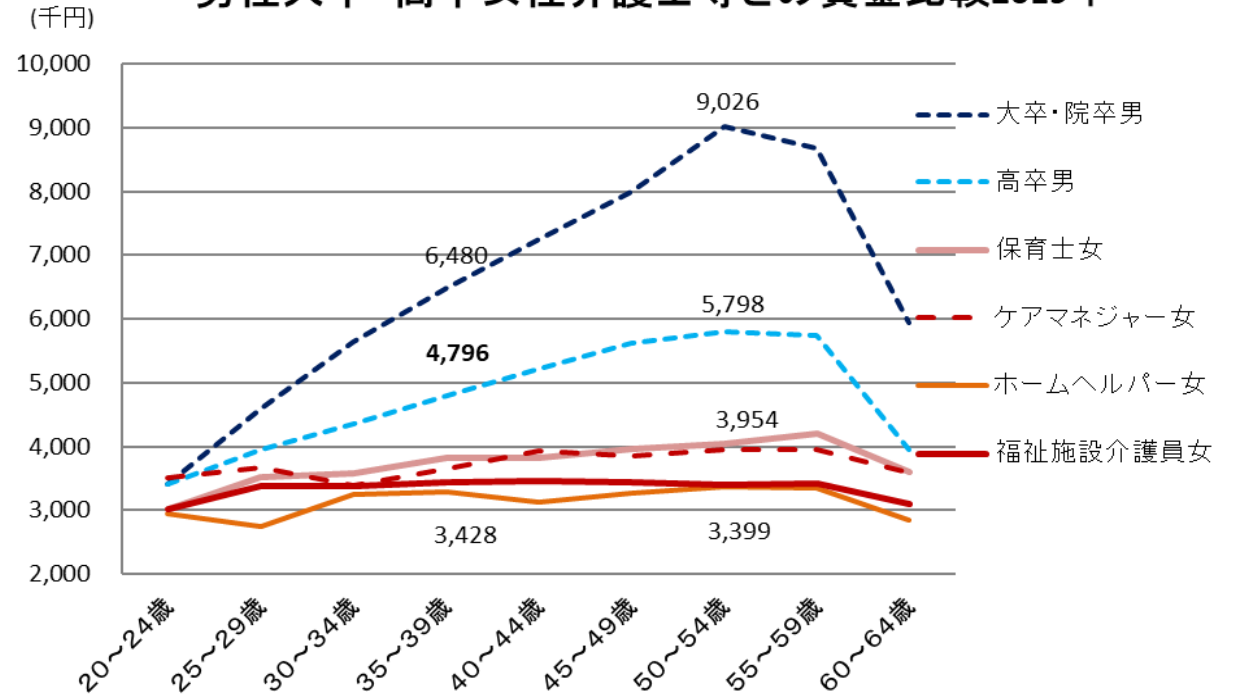
中央公聴会資料

全国労働組合総連合

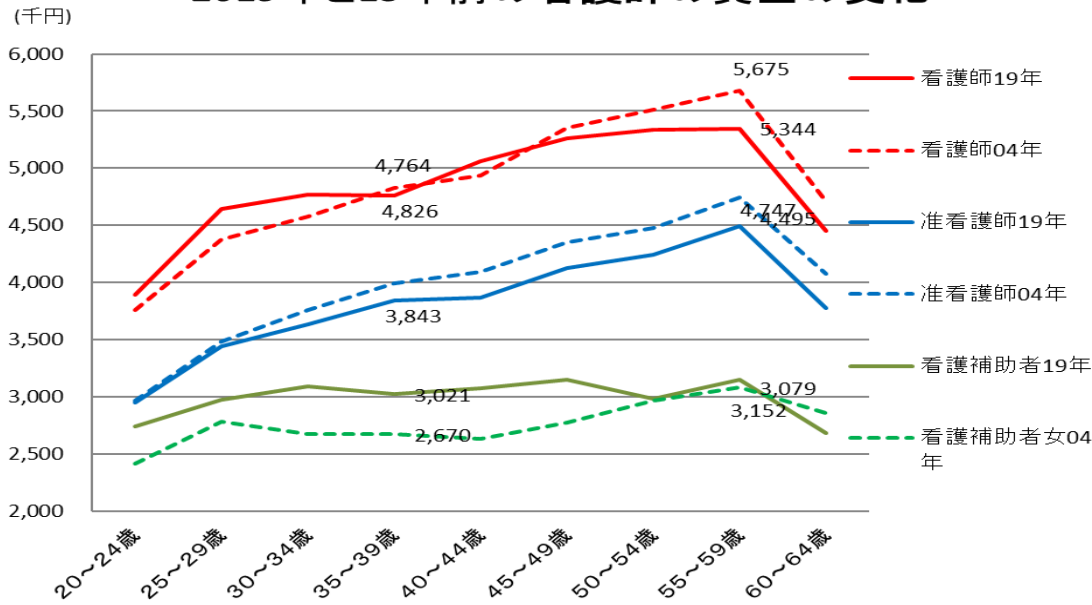
### 男性大卒・高卒と女性看護師等との賃金比較2019年



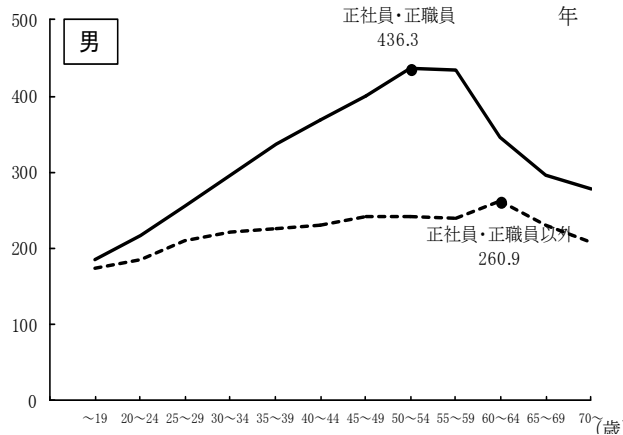
### 男性大卒・高卒女性介護士等との賃金比較2019年



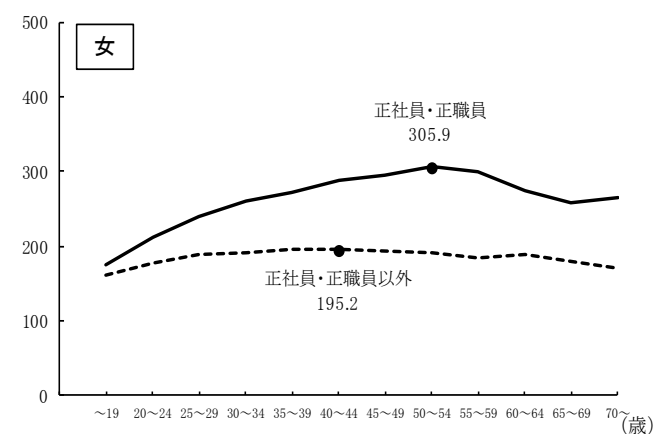
### 2019年と15年前の看護師の賃金の変化



(千円)



(千円)



# 2021春闘アンケート 自由記入欄・VOICE (抜粋)

2021年2月3日現在

## 【日本医労連】

- 01 夜勤のための休み、夜勤のための有休消化になっている。自分のための休み、ゆっくり休める休みが欲しい。コロナのための制限が多くどこにも行けない。ウィルスを持ち込まないということはわかっているが、医療従事者というだけで行動まで制限されストレスがたまる。
- 03 夜勤が10～11回が毎月で、体調をくずすことが多い。スタッフが増え8回以下になることを切願する。
- 04 パートでの仕事量でこの賃金だと心身共に疲れます。コロナ対策としてマスク着用アルコール消毒と徹底していますが、マスクの配布無し。手荒れもひどく医療機関を受信する人もいます。病院から何も保障がない。直接患者と接するリスクもある中で、賃金を上げて欲しい。自分はもちろん家族を守っています。コロナにならない様に気を付けています。インフルエンザにならないようにしています。だからもう少し福利厚生充実、賃金を上げて。
- 06 正職から嘱託に変わったが業務としては正職と何も変わらない。夜勤ができないというだけで嘱託になり、基本給も一からというのはちょっとがっかりする。子供が小さくて夜勤できないのはそれぞれの家庭の事情もあるが当然のことだと思う。子育て世代が離職していくのもわかる。小学生入学するまで夜勤免除など子育て世代も働きやすい制度・保障を作してほしい。
- 07 新型コロナ感染対策について 医療福祉現場で働いている為、県外移動や交流に制限があり家族と会えない、外出先を制限している等、先の見えない自粛でストレスが溜まる。感染者のいない場合であっても医療福祉の現場の緊張感は相当のものである。疲弊して倒れない事を祈るばかりです。
- 13 現在コロナ患者が来た際に備えコロナ当番の呼び出し体制がある。月に1～2回。12時間拘束されているような状態。ゆっくり寝る事もできず気持ちが休まらない。その対価を求める。
- 14 奨学金や年金負担、税金、最低限の生活費で手元に残るお金はほとんどありません。専門性の高い仕事で病院の利益にも貢献しているはずなのに賃金が少なすぎると思います。若者のモチベーションは下がってしまい、この職業に悲観して去っていく人も多数います。リハビリの職種（コメディカル全般）が軽く見られている気がします。一刻も早く賃上げしてください。
- 16 病院の収益が減少し、給料やボーナスが減ることが予想され不安である。病院に対する支援（金銭的・物資）がしっかりほしい。一時金が支給されるのは良いが、病院の減収にも対応していく必要があると思う。
- 18 訪問看護はコロナ、インフルエンザ、その他、感染症のリスクが高い。しかし、手当がつかない。リスクを覚悟で働いている人々に危険手当を支給してほしい。このままでは、訪問看護師の数が減ってしまうおそれがある。
- 19 育児にはお金がかかります。病院に働くために病院の保育園を利用しているのに4万/月もかかります。なぜ小中は保障されるのに保育費は、保障（国から）ないのですか？ママとして働くには体力、精神的に辛い。もっと楽な環境で働きたい。
- 24 何年勤務してもパートのまま。時給も上がらない。ボーナスもなし。仕事自体にやり替えはあるが使命感を持って勤務できるが、子供にお金がかかるので将来が不安。収入を増やすためには職種変更をするしかないのか考えている。コロナ禍だからこそ医療従事者には手厚い補償と安心を。
- 27 離職者が多く人員不足により休憩もとれない現状。有給を希望しても公休に替えられる。
- 29 介護職のしごときつい 仕事と賃金が見合わない
- 32 コロナ禍は労働者が責任をとらなければならないのか？しっかり国が補償して責任をもって雇用を守るために対応してほしい。
- 33 コロナ禍のために旅行どころか県外に出ることも、都度会議にかけられ、休みをつけてもらうのも恐縮で、親にも子にも会えず。役職ついているからか残業していても帰宅命令もなく、次の勤務帯の手伝い、休みは研修会の打ち合わせ。（もちろん無給。）私的の時間も仕事の時間も区切りなく仕事があるのはありがたいのですが、なんだか疲れしました。
- 37 コロナウイルス感染患者の入院に備え、マニュアルの作成や整備、PPE脱着の練習、緊急時のシミュレーション、入院室の整備など多くのことを時間外に行ったが、それに対する時間外の請求が出来なかった。仕事があることはありがたいと分かっているが、ただ働きになっている現状にも納得できていない。
- 42 コロナ受入れ対応病棟に勤務しています。業務困惑や感染症に対する不安な中、精神的負担が大きいです。年休を消化させてもらいたいが、病棟スタッフ、足並みをそろえているような状況で申し出しにくい。皆さんも同じだと思う。それに対する手当も低額すぎて一生懸命医療を行っているのに報われない。
- 45 新型コロナを経験し、日本の医療の脆弱さが浮き彫りになったような気がします。もっと健康で行け続けられる社会を作るためには、診療報酬改善しかかりやすい医療体制にしていきたいと思います。命が何より大切です。
- 50 あまりにも安すぎる。11年も勤務しているが時給が10円しかあがらない。業務は忙しくなるばかりで大変。人員もへったまま増えない。
- 51 休憩時間もなく働きづめなのにまだ赤字という。これ以上どうすれと会社は言うのか？昇給も無し、格差はいっぱい。「うちはホワイト企業です」と言い切る社長にあきれる！何も言わなければ何も変わらないと信じるしかない今がツライ。
- 52 コロナ差別を受けた看護師の話の聞くと本当に悲しくなります。賃金補償をすべき
- 53 最低限の賃金で最大限働かせようとするのはやめて

## 【福祉保育労】

55 人手不足の上にコロナの対応によって人手が必要になり困った。人がいないので、自分が休んだ時に残った人が困るのではと思いうように休めない。

56 子どもが大学進学したものの私と主人の収入では払うことができず奨学金でまかなっている。大学進学が通常となりつつある今、保育士として働くことにやりがいはあるが、収入を考えると転職か？とも考えてしまう。好きでないとやっていけない職種だと痛感している。

57 自分の将来に希望がもてない。子どもの命を毎日守り、生活をしているのだから、せめてあと5万円は賃金を上げてほしい。世間では、保育施設の拡充を進める声があるが、本気で待機児童をなくしたいのなら、いい加減保育士の賃金を上げていただきたいところです…。

58 賃金が安い。人間相手の仕事でこの額はどうかと思う…この額で人材確保はどう考えても難しい。福祉業界の成り手が少ない一番の要因だと思う。人手が少なく限られた人で回らす、責任や仕事量も増える。体力に必要な仕事は、自分の身体も気にかけていく必要がある。あまり良い面がない。

59 コロナウイルスにより緊急事態宣言が出ている中でも休園になることもなく医療機関で働く保護者さん達を必死である意味命がけで支えてきた。しかし、国からはそれに対する支援金も慰労金も出ず、つくづく保育（福祉）の仕事は、情熱や自分自身のやりがいのみでしかモチベーションを保てないのだ…と悲しくなった。コロナ禍の中今後、働く親を支える保育は今のまま保障や年収が上がらないままだとどんどん減っていくだろう。

62 持ち帰り仕事をするのが当たり前ですが、それはやはり支払われるべき給料だと思います。家で、子どもが寝てからの仕事は負担です。人手があれば、勤務中保育から離れて書類仕事を交代でできるようになると思います。働きやすく、長く勤められるような職種になってほしいです。

63 毎年毎年、人手が足りなくなり、年度途中で疲弊してしまいます。正規職員が少なく、非正規職員の負担が大きく感じます。でも正規職員の大変さをみると、「非正規だから」とも言いにくいです。自分だけが疲れている訳ではないけど、隣の芝生は青くみえて、心が狭くなり、自分はこんなに頑張っているのに…と不満が蓄積されていくのが嫌になります。リフレッシュしたい!!

64 各クラス正規1人+パートや非正規のため、正規の負担多く、土日に部屋(クラス)の片付けや次の週の準備などしなければならない状態です。コロナで土日研修なくなったが、気が付くと土日仕事をしている自分がいて、気持ちも体も疲れきってしまう。

69 コロナで残業へった。良いことなのに給料すごく下がった。今まで残業代をあてにしてた所があった。基本、賃金UPと底上げを願います。

70 勤務外の仕事(事務仕事)に関しては、給与が発生しない。でも、給与は発生しなくても仕事の一部なので、やらなくてはいけない。保育士は子どもを見ているだけが仕事ではない。事務仕事に対しても賃金が発生してほしいと切に思う。この安い給与の中で、家賃、貯蓄、自分のために使うお金と分けると本当にわずかになる。低賃金で、大変な労働環境の中では、長く続けたくてもできない現実がある。

71 昨年結婚し、2人での生活となった。配偶者の給与で生活にゆとりが出た。しかし、私一人での生活だとしたら、今の給与ではとても苦しい。仕事にはやりがいを感じているが、コロナの影響で検温や消毒など気を使うことが更に増えた。普段でも苦しいと感じていた仕事がより苦しくなった。今年度で退職を決めて少し気持ちが楽になったが、そうしないと心の安定がとれないことがとても辛い。

74 産休代替が見つからず人員不足。その為有給が取れない。保育士の給料を国が補助し働こうと思う人が増えなければ、労働条件が悪くなるばかり。保育無償化より先に給料を上げて欲しい。

75 休けい時間に(食事準備+片付け+ノート記入)などがあり、ほとんど休ケイではない。全くイヤではないが、ちゃんとした休ケイがほしいです。休ケイ=無給時間なので。

76 配置基準の見直しをしてほしいです。特に、0歳児クラスは月齢や発達差が幅広く、3:1では発達の保障や命の安全だけでなく保育士が座って一息つく瞬間もほとんどありません。昼食をとることも難しい日もあります。2:1にしてほしいです。

77 障害児の児童発達療育施設に勤務しています。保育園とは違い、保育士には資格手当がつきません。また、利用料が自分たちの賃金となるためコロナの影響で利用児が少ない月が一か月以上となるとボーナスに影響が出て、今年の夏は半分カット、冬もどうなるかわかりません。賃金カットはなりません。ボーナスカット(通常の賃金も安いのに)でやる気のなくなる人や若い人の転職にもつながりかねないと危惧しております。

78 手話通訳ができる人が足りておらず、今働いている人に過重な負担がかかっている 改善が必要と思う

82 正職、パート。クラスに入っている職員は、みんな同じにローテーションに入って遅番・早番もするし、製作で居残りもある。責任の重さが少し違うだけでやってることは同じ…時給をもっとあげてほしい。

83 保育で必要な教材の準備や書類でほぼ毎日夜9:00~10:00帰宅です。職場の拘束時間も長く、ほとんど家にいる時間がありません。正直苦しい時の方が多いです。コロナで研修は減りましたが、例年は上記に加えて年に数十回の研修や遠出の遠征での研修があり、出費も(研修費も)多くありました。医療だけでなく、保育士にも慰労金がほしいです。保育士が低く見られています。

84 残業手当は月1回の職員会議のみ支給。その他超勤は残業代は出ていない状況。希望休は無く、年休も全ては取れない。



今回の調査では、新型コロナに関する特別項目を設け、仲間の声を集めました。

# VOICE!

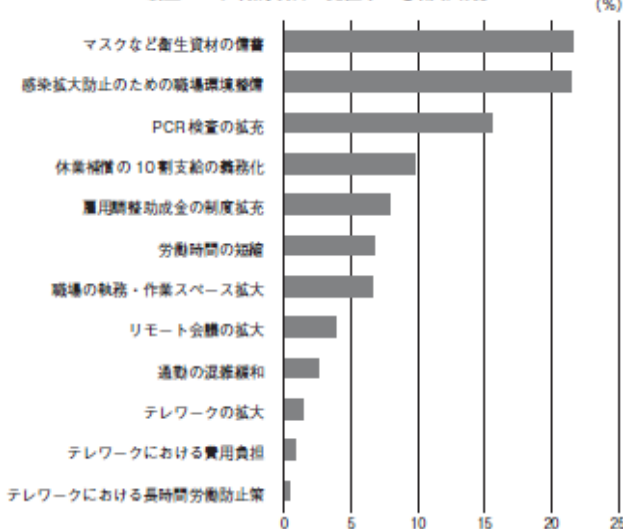
- 新型コロナが消えない以上、医療従事者としての行動責任やストレスは消えず増えていくと思う。給付金は今回貰えることになったが、今後先が見えない事に不安。高齢者が重症化しやすい傾向にある為とても気をつけている。子供もいる為、旅行やイベントにも行かせてあげたいが行けず、早く終わりが来てほしい。そして更なる生活支援を苦しんでいる人の状況を把握して優先順位で助けてほしいと思う。
- 休憩時間をけずって仕事しても終わらないくらい多忙なのに、残業が出ると上司に怒られる、救われない。
- 日々新型コロナ対応している医療従事者の安全確保、人員確保、定期的なPCR検査ができる体制を望みます。頑張っている医療従事者が疲弊しない、充実し（家族も安心できる）安全な対応を望みます。
- 税金や社会保険料などの値上げに対して賃金のペースアップが見合っていない。業務時間内に終了できない量の業務がある。
- 医療介護職場の善意だけに頼らない制度作りを。診療報酬・介護報酬で人員を増やすことのできる改善を望みます。毎年の業償改定の見直しを。
- 残業しないと日常業務が終わらない状況をかえてほしい。人を増やして欲しい。
- 体の不調が続き、仕事がつらくなる。人数が確保できないため、短時間でも仕事ができる人の募集をかけてほしい。辞めたいと考えてしまいます。
- 常に危険と隣り合わせ、人員不足の中頑張っている。新型コロナ患者が増えると医療崩壊が不安。
- 退職者が多く補充もされない中で働いています。からだ壊れそうです。

## いのちと暮らしを守る

# 2021春闘

### 社会的役割にふさわしい賃金・労働条件の実現を

新型コロナ特別項目：見直すべき職場環境

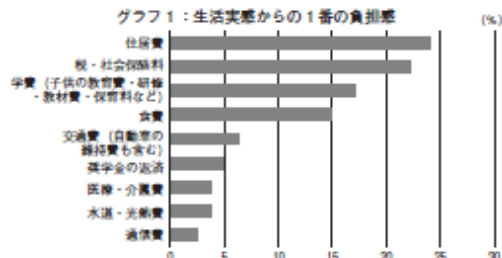


新型コロナウィルス感染拡大が収まらないうち中集約した特別項目のうち「今後見直すべき職場環境」の項目では、「衛生資材の備蓄」が21.6%、「感染拡大のための環境整備」が21.4%、「PCR検査の拡充」が15.0%となっていました。

### 特別項目「衛生資材」検査の拡充」上位

### 特別項目 新型コロナ対策

# 春闘アンケート中間集計

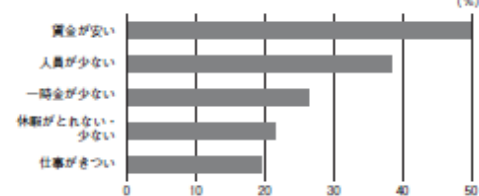


生活「税・社会保険料」負担ズッシリ(グラフ1)

「何に1番負担を感じるか」の問いに第1位が「住居費」、第2位「税・社会保険料」、第3位「学費(子供の教育費、保育料や研修費など)」と続いており、過去の比較でも、この順位に大きな変動はありません。

特に「税・社会保険料」の負担感は20代から60代まで1位・2位を占めています。これは、「政府に対する要求」とも一致して、国の施策を含めた改善が必要です。

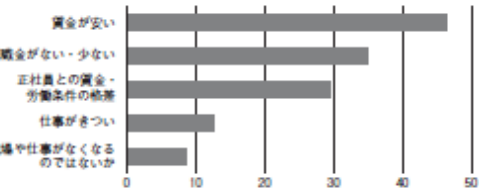
グラフ2：職場の不満(正職員)



職場の不満「賃金が安い」不動の1位(グラフ2、3)

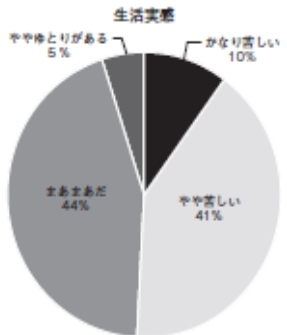
職場の不満では、「賃金が安い」49.8%と約半数が賃上げを求めています。次いで「人員が少ない」38.5%、「一時金が少ない」が26.4%と続いています。パートの職場に対する不満でも「賃金が安い」46.3%とトップになり、賃上げ要求額も年々上がっています。昨年と比較して8円増え174円の要求額となり賃金的大幅引き上げは、ゆずれない切実な要求となっています。

グラフ3：職場の不満(非正規)



政府要求「最低賃金引上げ」連続2位

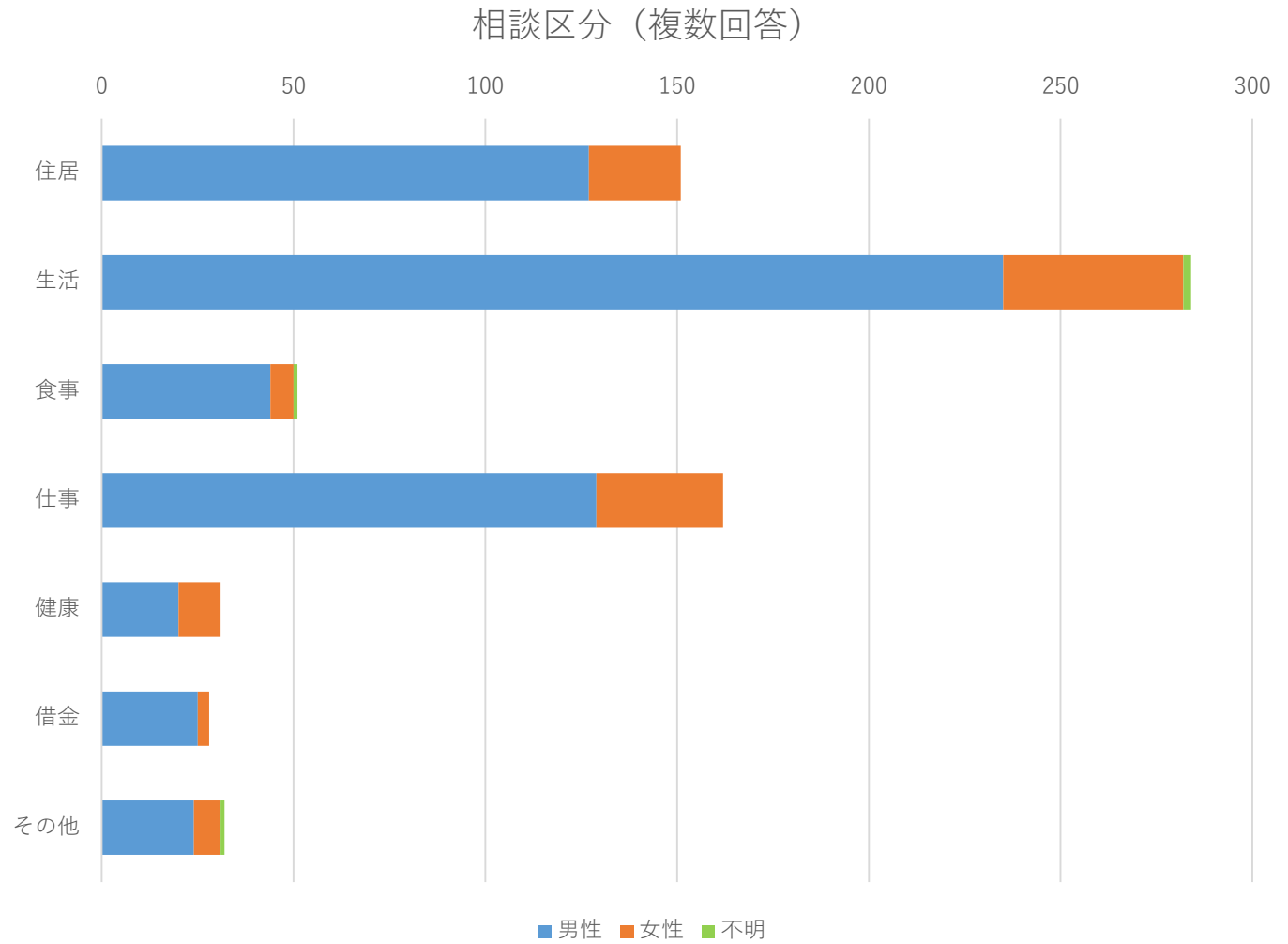
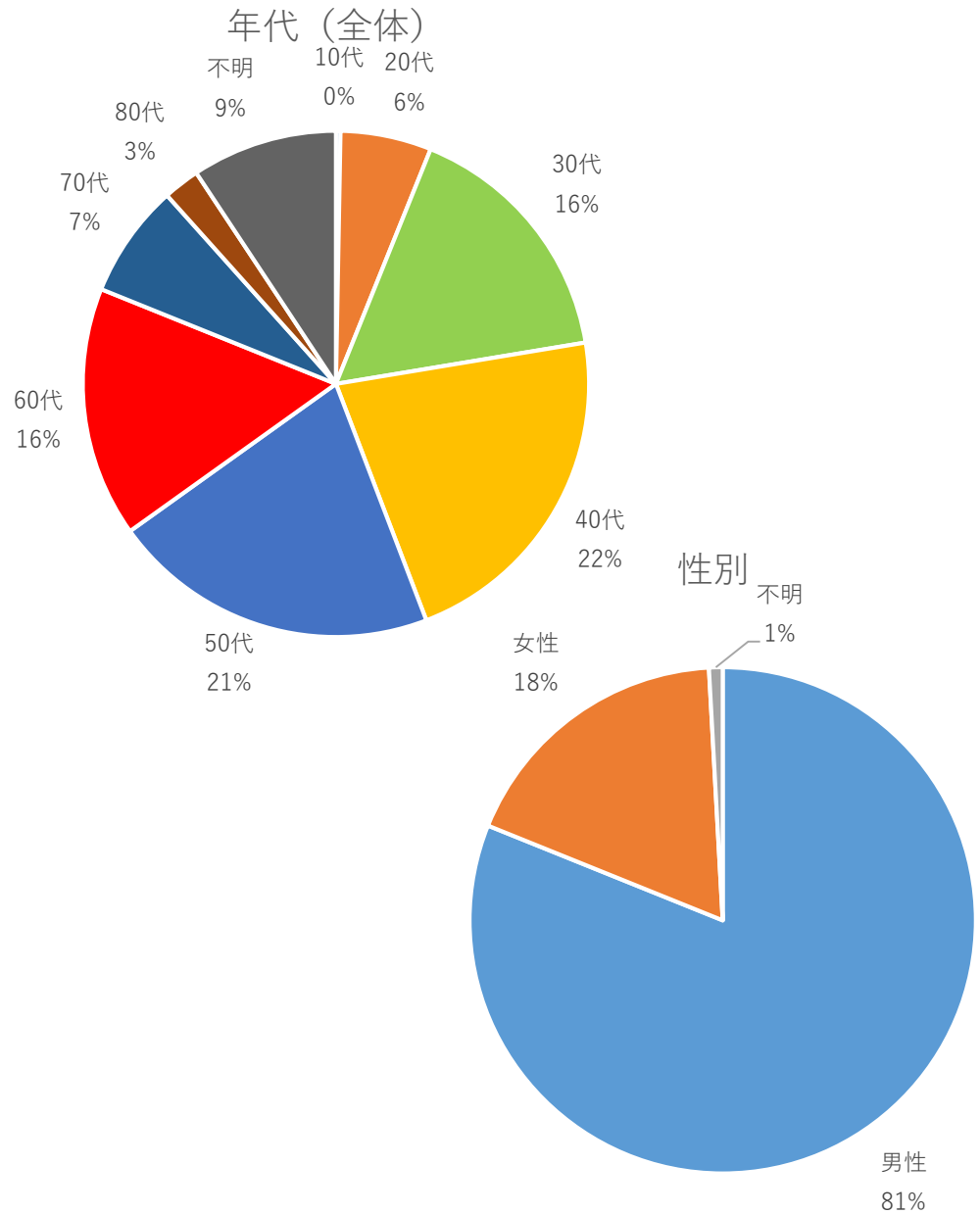
「政府への要求で最も重視するもの」では、例年通り「医療・介護・保育の充実」がトップです。また昨年に続き「最低賃金引き上げ」が43.2%と第2位となっています。全国で最低生計費試算調査がすすみ、「誰でも8時間働けばまともな暮らしができる」ためには時給1500円必要なのだという、全国一律最賃・産別最賃をめざした学習と運動の成果が反映しています。



生活実感について「かなり苦しい」10.0%、「やや苦しい」41.0%をあわせて51.0%が苦しい生活実感を訴えています。これは昨年と比較すると若干改善していますが、2000年からの平均では約8.0%と割合を踏えており生活改善は足りていないと訴えています。この生活実感では平均賃金は月額平均は1万6000円と

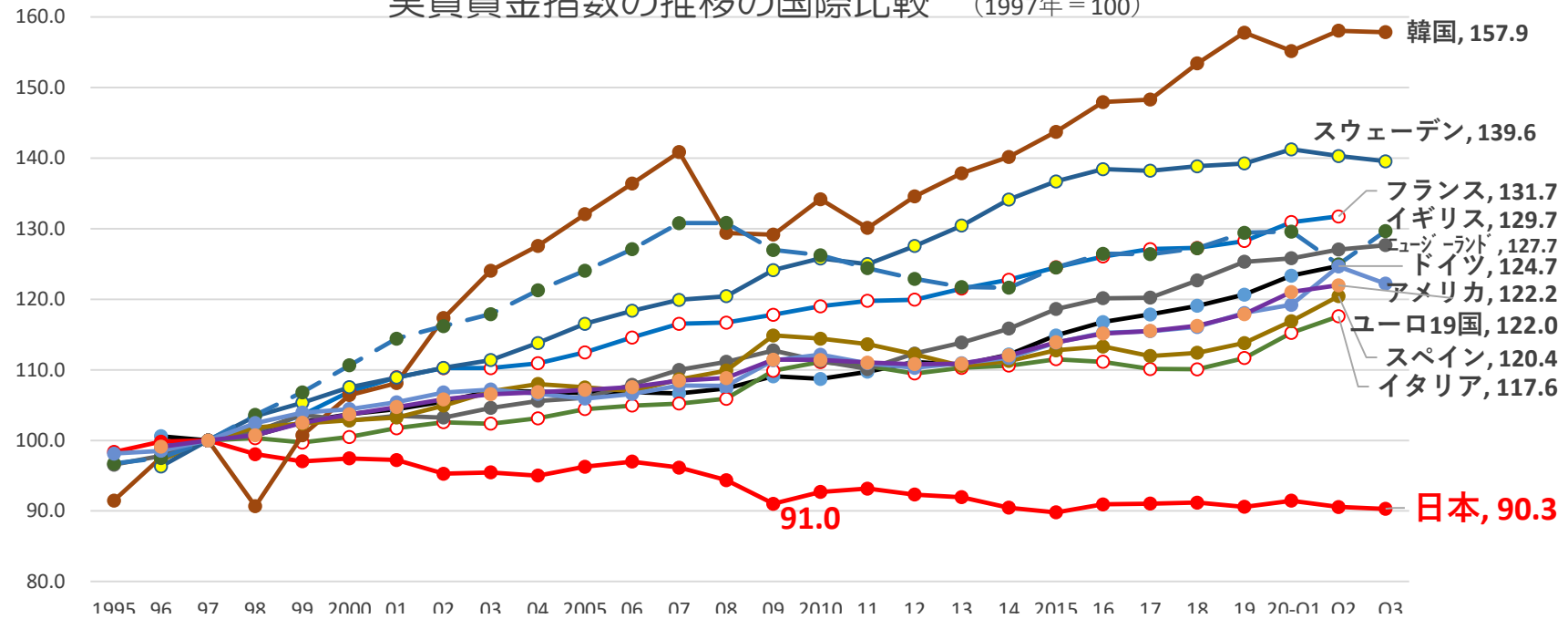
### 生活が苦しい「5割以上」10年間変わらなず

# コロナ災害からのちとくらしを守る相談村 相談結果とりまとめ資料より



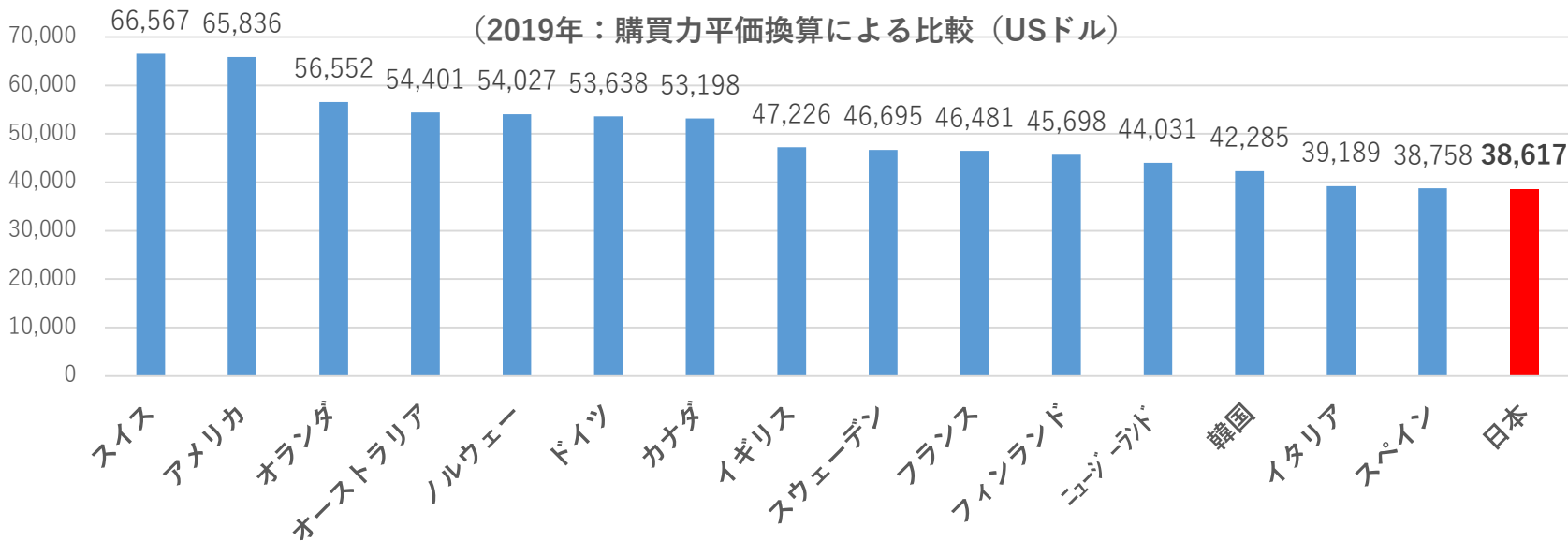
OECD.Statの労働統計中の「average anual wages」より。国民経済計算における雇用者報酬（一時金・時間外手当、法定福利費含む）を、フルタイム就労換算した全産業の労働者数で割って算出し、2019年の購買力平価（家計最終消費支出の価格デフレーター）によって国際比較したもの。OECD統計によれば2019年の購買力平価は1ドルあたり100.64円である（為替レートでは109.01円）。

### 実質賃金指数の推移の国際比較 (1997年 = 100)



### 平均賃金（年収）の国際比較

(2019年：購買力平価換算による比較 (USドル))



出典：oecd.statより全労連が作成。民間産業の時間あたり賃金（一時金・時間外手当等含む）。1997年を基準に指数化。

注1：日本のデータは「毎月勤労統計調査」よりOECDに提供されているもの。2004年～17年の値は不正により実際より低いことに注意。厚労省によればその差は0.6%程度。その分を上振れ補正しても、他の国の実質賃金の伸びには追い付かない。

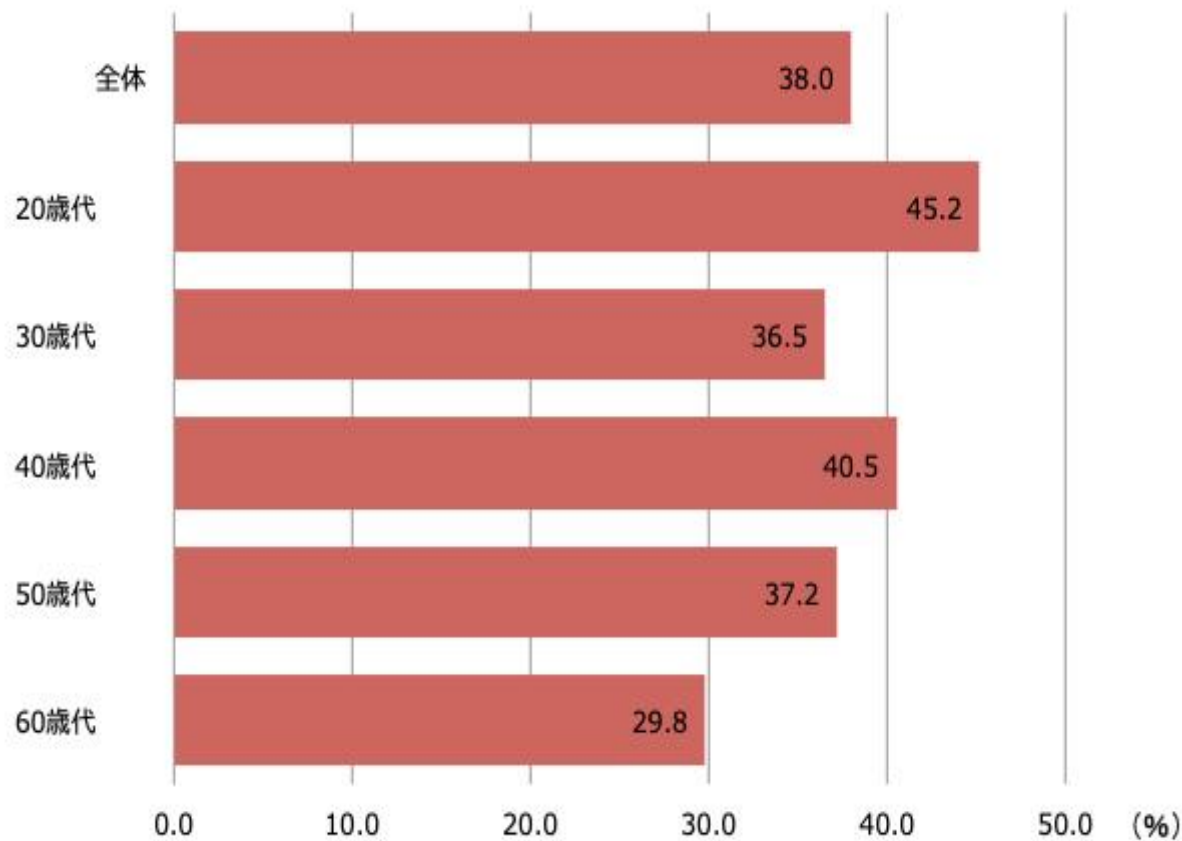
注2：20年のQ1～Q3は、第1四半期～第3四半期。Q3までそろっているのは5か国で他の国はQ2までの表示となっている

OECD統計より作成

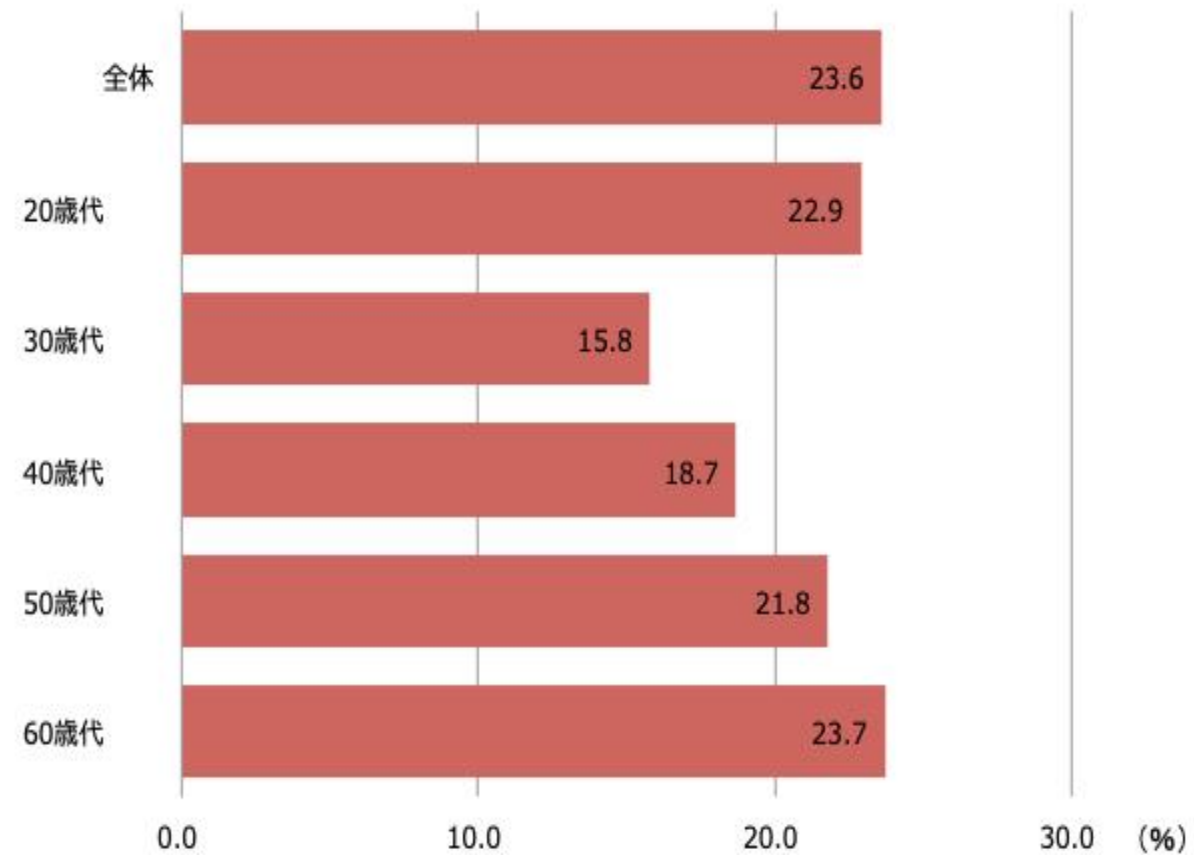
# 貯蓄ゼロ世帯

単身では**38%**  
2人以上でも**23.6%**

## 単身世帯



## 2人以上世帯





■雇用者の最大減少幅は男性の倍

女性  
**74** 万人減

男性  
**32** 万人減  
2020年4月

■非正規労働者が多く、雇用調整の対象になりやすい

**53.4** %

**21.7** %

2020年7月の総務省労働力調査

■減った産業に多く従事

飲食

**142** 万人減

**83** 万人減

製造

**89** 万人減

**64** 万人減

生活・娯楽

**81** 万人減

**12** 万人減

2020年4～10月の  
前年との差の累計

2021年1月26日 朝日新聞 朝刊より

コロナ禍の  
女性への影響

■DV（家庭内暴力）相談件数

2020年4～11月の相談件数はいずれも前年より増加

2020年5月・6月は

**前年の約1.6倍**

■性犯罪・性暴力被害 相談件数

2020年4～9月の累計相談件数

**前年の15.5%増**

■自殺者が増えている

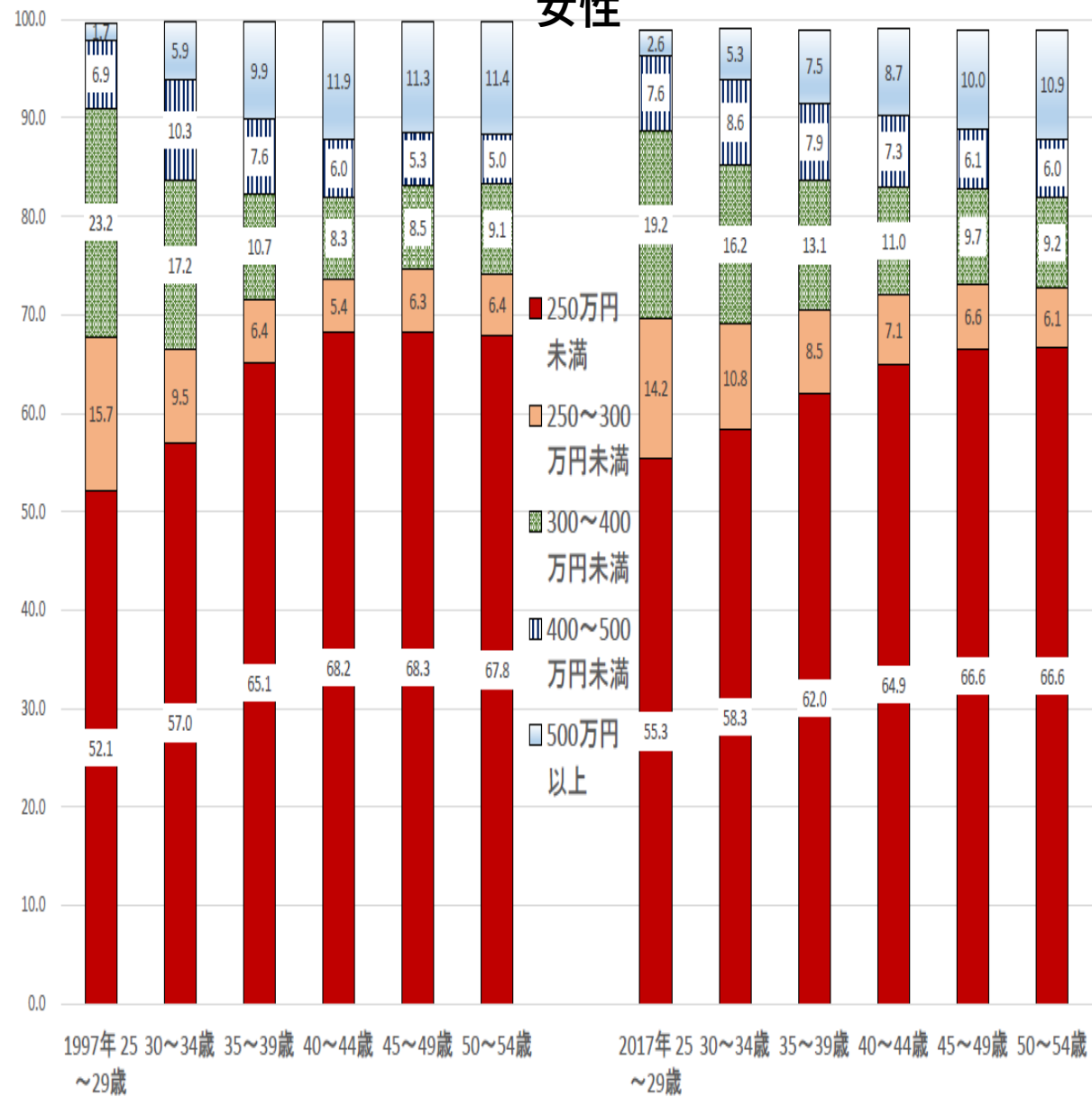
2020年10月は879人、対前年同月で413人増加、  
2020年6月～11月まで6か月連続で増加

内閣府「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」に提出された資料から

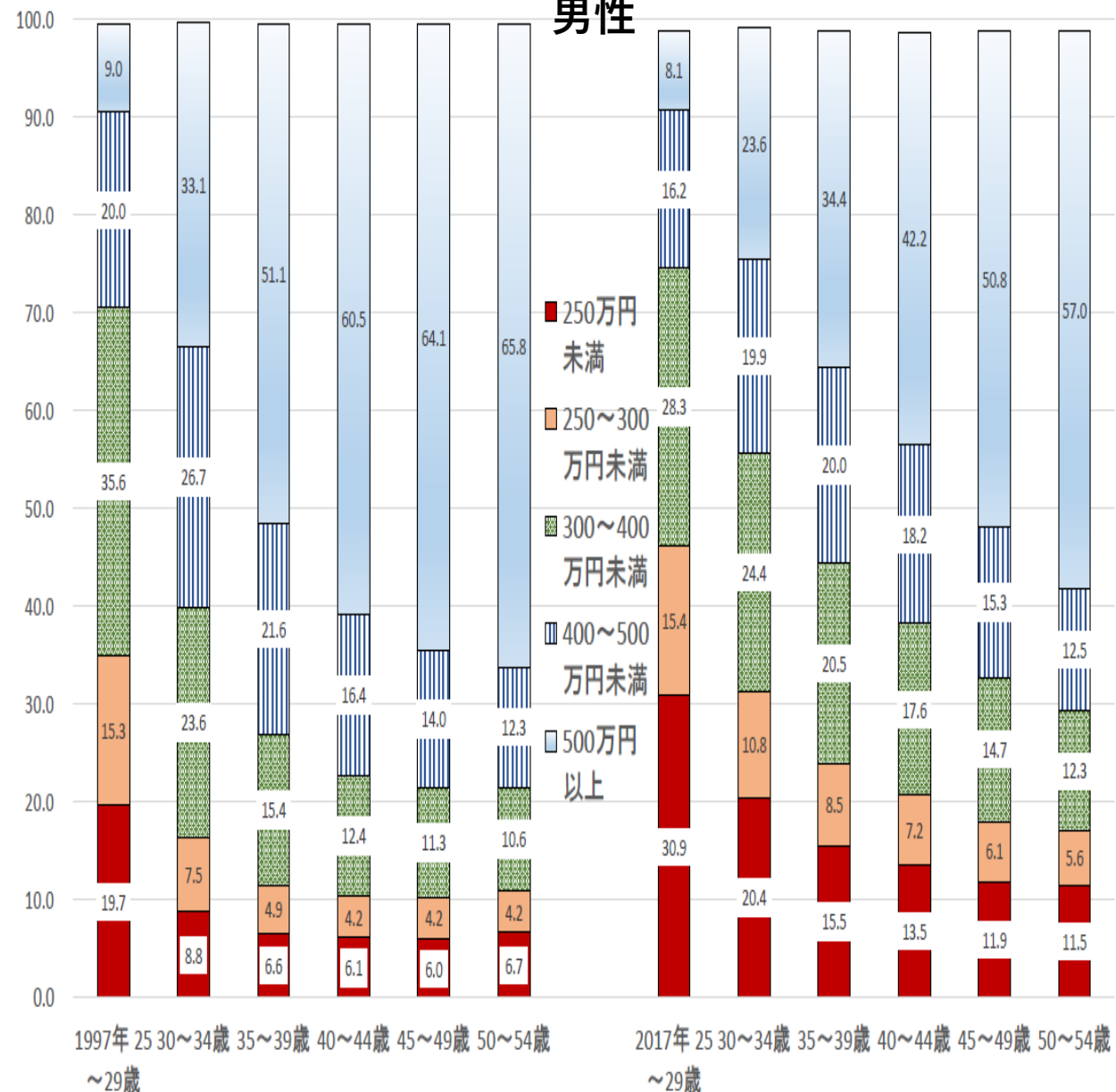
2020年10月前年同月  
**413人増加**

# 雇用者年収分布（2012年消費者物価による実質値）

## 女性



## 男性



一般世帯における世帯主・世帯主の配偶者・世帯主の子など・単身世帯別人口、人口割合と正規・非正規労働者数および非正規が占める割合

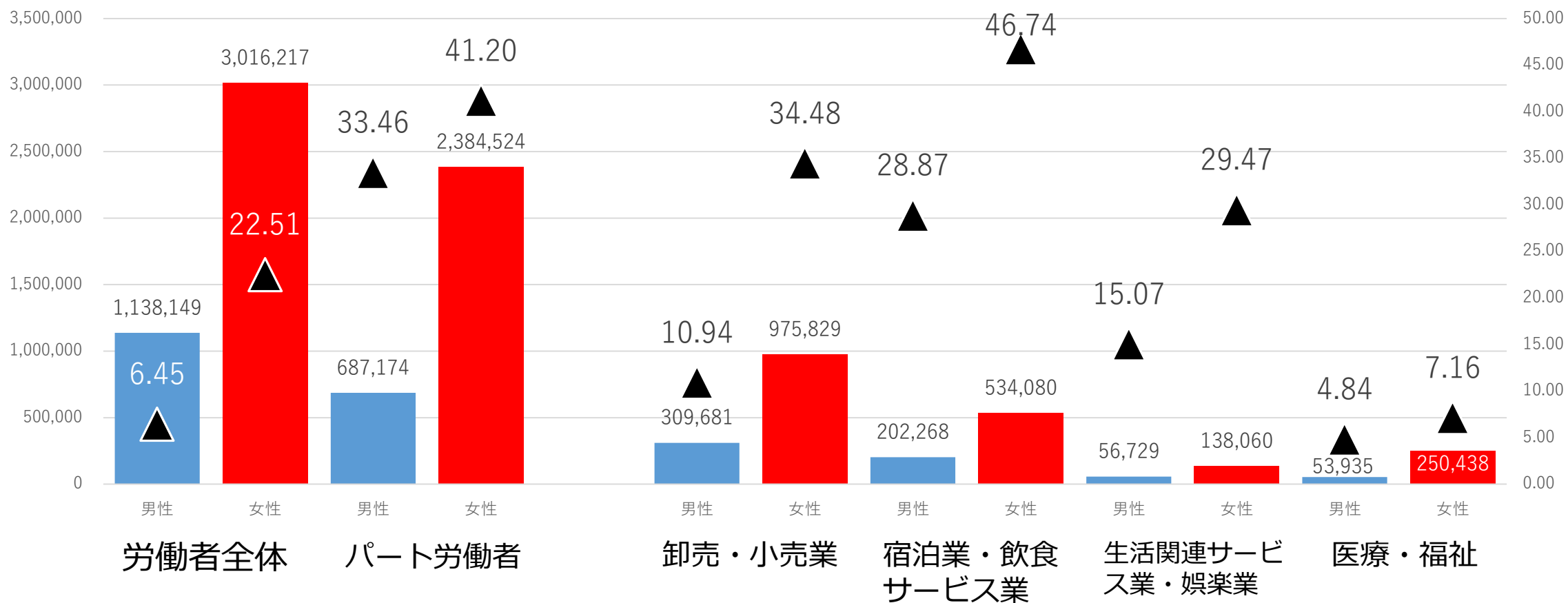
15-64歳		2002年15～64歳以上人口			2002非正規		2019年15～64歳以上人口			2019非正規	
		人口内訳	人口内訳	人口内訳	2002正規	2002非正規/人口	人口内訳	人口内訳	人口内訳	2019正規	2019非正規/人口
女	総数	4270	100.0	979	1029	22.9	3702	100.0	1292	1121	34.9
女	一般世帯世帯主	230	5.4	69	74	30.0	243	6.6	93	98	38.3
女	一般世帯世帯主の配偶者	2376	55.6	571	402	24.0	1939	52.4	769	460	39.7
女	一般世帯世帯主の子、子の配偶者	1165	27.3	240	385	20.6	1036	28.0	288	360	27.8
女	単身世帯	365	8.5	73	139	20.0	380	10.3	113	175	29.7
男	総数	4274	100.0	365	2386	8.5	3787	100.0	483	2258	12.8
男	一般世帯世帯主	2325	54.4	144	1481	6.2	1933	51.0	157	1401	8.1
男	一般世帯世帯主の配偶者	11	0.3	0	6	0.0	30	0.8	4	16	13.3
男	一般世帯世帯主の子、子の配偶者	1267	29.6	141	573	11.1	1163	30.7	213	487	18.3
男	単身世帯	566	13.2	68	295	12.0	569	15.0	94	320	16.5
男女計	総数	8544	100.0	1344	3415	15.7	7489	100.0	1775	3379	23.7
男女計	一般世帯世帯主	2555	29.9	213	1555	8.3	2176	29.1	250	1499	11.5
男女計	一般世帯世帯主の配偶者	2387	27.9	571	408	23.9	1969	26.3	773	476	39.3
男女計	一般世帯世帯主の子、子の配偶者	2432	28.5	381	958	15.7	2199	29.4	501	847	22.8
男女計	単身世帯	931	10.9	141	434	15.1	949	12.7	207	495	21.8

(万人) (%) (万人) (万人) (%) (万人) (%) (万人) (万人) (%)

# 最低賃金近傍で働く労働者の割合（産業大分類）

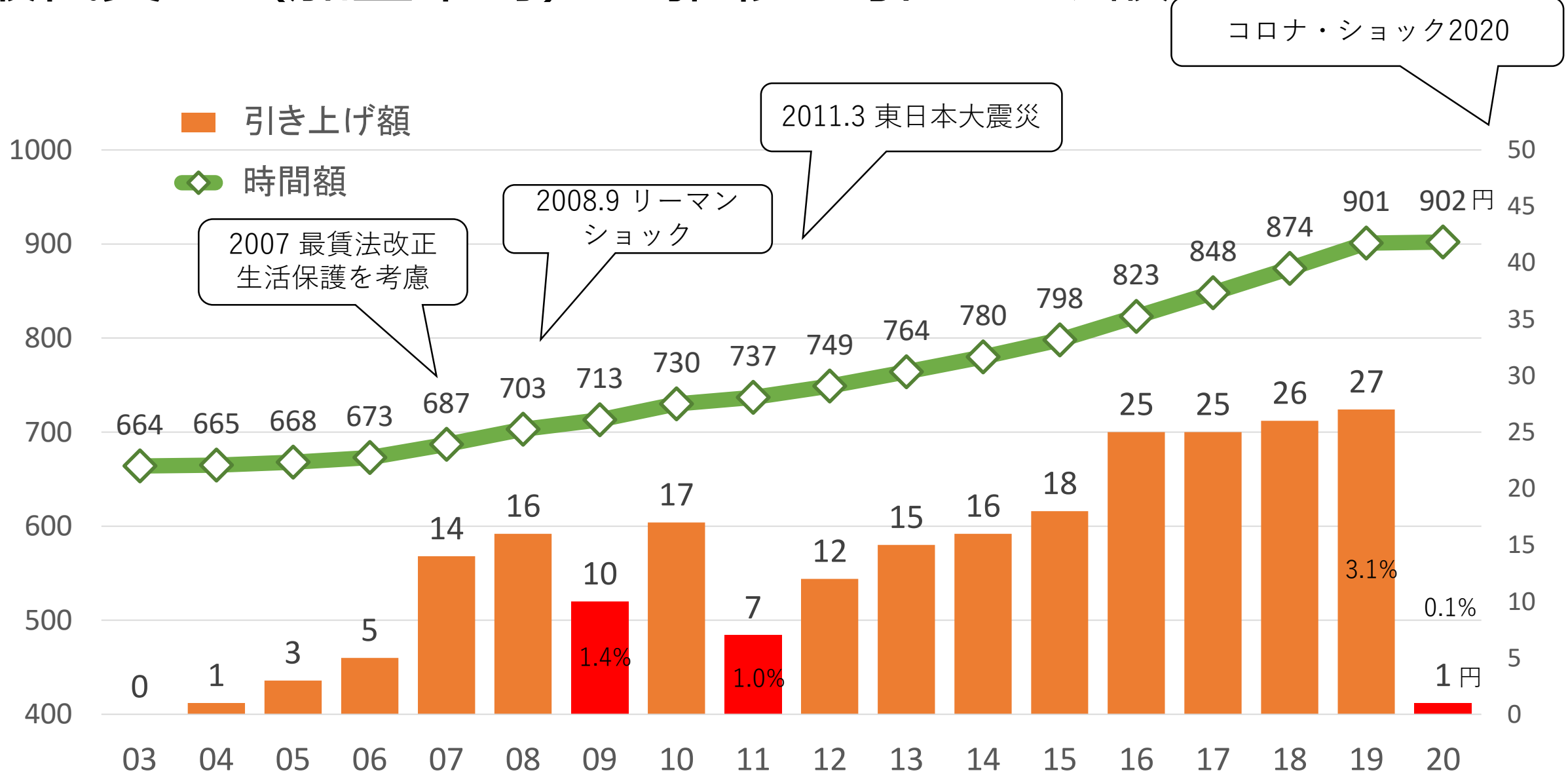
- 女性労働者の22.51%（約301万人、男性の2.7倍）、女性のパート労働者の41.20%（約238万人、男性の3.5倍）が最低賃金近傍で働く低賃金労働者となっている。
- 産業別では、いわゆるエッセンシャルワーカーに最低賃金近傍で働く労働者が多い。卸売・小売業で働く女性労働者の34.48%（約98万人）、宿泊業・飲食サービス業で働く女性労働者の46.74%（約53万人）が最低賃金近傍で働く低賃金労働者となっている。

最低賃金近傍で働く労働者とは、最低賃金×1.15未満の者

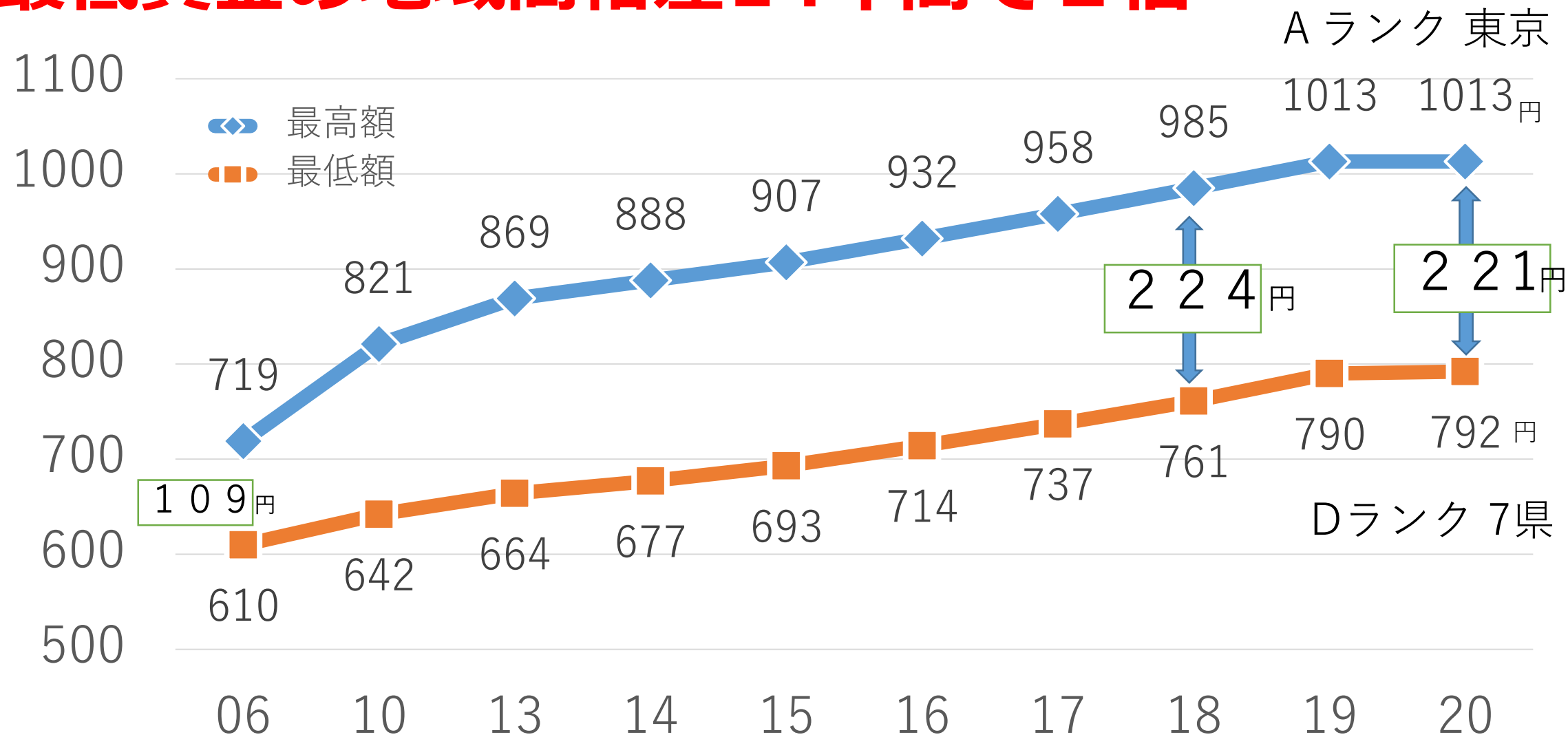




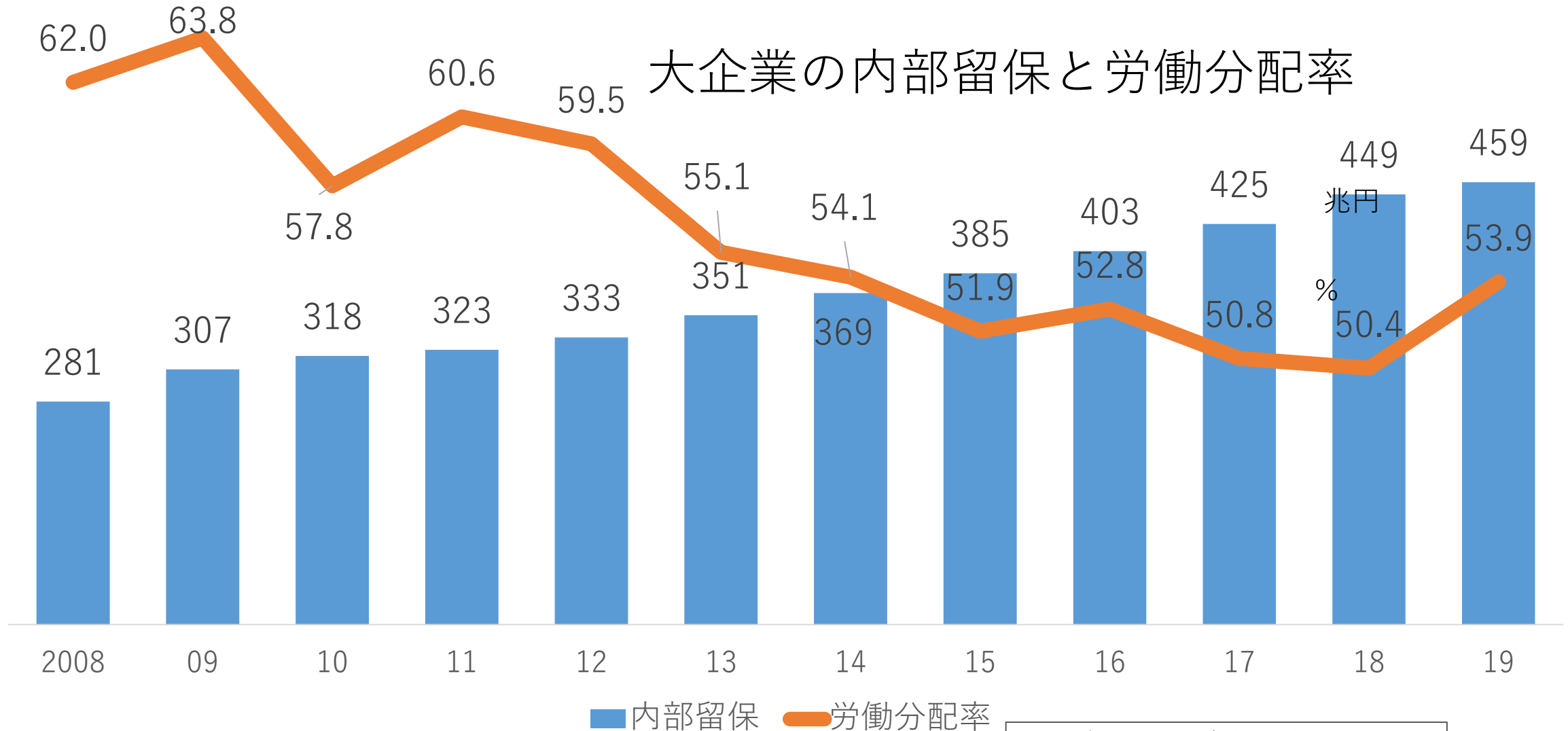
# 最低賃金（加重平均）の推移と引き上げ額



# 最低賃金の地域間格差14年間で2倍



# コロナ禍 「大企業の内部留保は増え続ける」



財務省：法人企業統計調査より